

高浜地区振興会 広報

はと 九鳥の峯

No.33
2014
10.1

平成26年10月1日



敬老会

主な内容

精霊流し	2P
歴史講演会	2P
虫追い祭り	2P
高浜ぶどう	2P
敬老会	3P
井戸端会議	3P
市民ふれあい座談会	3P
秋季例大祭	3P
喜寿同窓会	4P
グラウンドゴルフ大会	4P
編集後記	4P

少しづつ秋の訪れを感じる季節となりましたが、今年の夏は暑さというより、全国的に猛烈な雨が降り続き、広島市を始め各地で甚大な土砂災害が発生いたしました。ここ高浜でも、西平線の道路が崩れるほどの雨が降り、いまも不便な生活を強いられています。

高浜地区敬老会には多くの方々にお集りをいただき、盛大に開催されましたことは、誠に喜ばしい限りです。

戦中戦後の大変厳しい時代の中で、長い間、家族、そして郷土発展のために頑張ってこられた皆様、現役で頑張っておられる方や、現役は退かれたものの、後継者の育成や新たな目標に向っておられる方など、地域社会でご活躍されている方々が多く、誠に頭の下がる思いでございます。

これからも皆様のご多幸とご長寿をお祈り申しあげます。

平成26年9月 高浜地区振興会長 黒田 勝義

精靈流し



精靈舟集合(漁協荷揚場)



パクチクとともに回る精靈舟

8月15日、お盆恒例の「精靈流し」が開催されました。「チンチン・カンカン・ドーハイ」の掛け声とともに、精靈舟が担がれて行く風景は、やつぱり高浜のお盆だなと実感させられました。また、ほとんどの精靈舟が、中央バス停付近の交差点で掛け声よろしく3回程回って港の方へ行く様子も高浜ならではの風景でした。

中には派手に回り過ぎて提灯の明かりが消え、点け直したと思いつかや前にも増して大きな掛け声で会場の港へと担いで行く初盆家の方々も見受けられました。

今年も振興会、実行委員会が中心となって開催されましたが、時代に対応しながらもこの高浜の伝統行事である精靈流しが続いていることを願っています。

高浜の夏に、お盆の精靈流しは欠かせないものです。

高浜村は天草西海岸で有数の港、問屋・宿が3軒あり、船による商売で、当時（1810～1860年）の米・油など穀物や生活用品を輸入し、海産物、砥石・焼物など天草の特産品を輸出していたそうです。

東先生の興味ある講話で時間の経つのが早く満席の会場から、まだまだ聞きたいとの声がありました。

今後も是非講演会の実現を期待しております。



初盆家の灯籠



商工会天草支所

8月27日、商工会天草支所で、京都府立大准教授の東昇先生の「海が道だったころ」と題しての講演会がありました。

天草の南蛮文化・貿易と高浜村への旅人の出入が、天草周辺の肥前・筑後・薩摩を中心全国に分布し、遠くは現在の新潟・富山方面からも来ていて30カ国を越えていたそうです。

高浜村は天草西海岸で有数の港、問屋・宿が3軒あり、船による商売で、当時（1810～1860年）の米・油など穀物や生活用品を輸入し、海産物、砥石・焼物など天草の特産品を輸出していたそうです。

歴史講演会



八幡宮 五色旗

虫追い祭り



講師の東先生

6月22日（日）豊作を祈願する虫追い祭りが行われました。地域の耕作者を中心にして20名の方々が参加し、高浜八幡宮で神事が執り行われました。当日はあいにくの雨のため、五色の旗を持った行列は、取りやめとなりましたが、大庵、内野、峰平の田んぼを神主さん等と廻り、お祓いをしていただきました。秋の実りまでの間、虫が寄つてこないよう願いをかけた御幣竹が田んぼの随所に立てられました。

さて、「元祖」高浜でのぶどうの生育状況はどうか、7月の長雨の影響か、葉っぱが枯れ、房の付け方もまばらでした。例年より房の数も実も少なく、実が腐れ落ち、糖度も低いという3重苦でした。

ぶどう班も毎年勉強しながら、よいぶどう作りに励んでいきましたが、今年は天候に左右され、果樹作りの大変さを感じました。

高浜ぶどう



高浜ぶどう実り

高浜ぶどうを挿し木で増やす取り組みをして、6年目となる今年、苗木を自宅庭に植えられた菊池市の方から「高浜ぶどうの実」が届きました。今年実を受けたのだけど、今が収穫時かどうか？教えてほしいということでした。

5本本地植えし、そのうち2本だけが育ち、取れた高浜ぶどうの実でした。送ってきた実は、緑から少し紫に色づき、粒も大きく、酸味も少なく非常に甘いものでした。

さて、「元祖」高浜でのぶどうの生育状況はどうか、7月の長雨の影響か、葉っぱが枯れ、房の付け方もまばらでした。例年より房の数も実も少なく、実が腐れ落ち、糖度も低いという3重苦でした。

ぶどう班も毎年勉強しながら、よいぶどう作りに励んでいきましたが、今年は天候に左右され、果樹作りの大変さを感じました。

敬老会



艶やかなタヒチアンダンス



ハイヤ踊り(四十雀会)



マジックショー



生活部の皆さん

多年にわたり社会に貢献された方の長寿を祝い、末永い健勝を祈念するため、9月15日の敬老の日に、高浜地区敬老会が高浜コミセンで行われました。

高浜地区には70歳以上の方が499名おられ、うち130名の方に参加いただきました。

また、熊日新聞社主催の金婚をお祝いする夫婦2組の表彰も併せて行われました。

式典の後には、天草地区公民館講座があり、講師の先生から「いきいき生きる」を題材に口腔衛生の楽しいお話がありました。

余興では表現豊かな南国踊り「タヒチアンダンス」が高浜ではじめての公演があり、会場は大変な熱気に包まれていました。マジックショー、小学校6年生13名による作文発表、また、生2名によるダンス、5年生による作文発表など、「四十雀会」のハイヤ踊りなど、会場に花を添えていただき、楽しい1日となりました。

井戸端会議



白木区の井戸端会議



答弁する中村市長

6月11日の白木地区を皮切りに、7月31日の宮の平地区まで全8地区111名の方に参加いただきました。

井戸端会議に参加いただいた方のご意見については、後日行政に対しての区長要望として市へ提出された地区もあつて、ところですが、その内容等について「回覧」でお知らせいたしました。

井戸端会議に参加いただいた方のご意見については、後日行政に対しての区長要望として市へ提出された地区もあつて、ところですが、その内容等について「回覧」でお知らせいたしました。

市民からも、支所職員が少なくなることへの心配や危険な廃家屋への対応、国道389号線の拡張工事が早く進捗するよう県へ要望してほしいなどの意見が出ました。

これに対し、市長や部長から現状に対する説明や答弁があり、長時間白熱した座談会となりました。



元気でありますように!

五穀豊穣を祈り、道中も賑やかに奉納されました。

参道の石段が改修されて3度目の秋祭りで、御輿も順調に御下りし、各迫の御旅所を巡りました。



西校前を御輿が通る

高浜八幡宮秋季例大祭

余興では表現豊かな南国踊り「タヒチアンダンス」が高浜ではじめての公演があり、会場は大変な熱気に包まれていました。マジックショー、小学校6年生13名による作文発表、また、生2名による作文発表など、「四十雀会」のハイヤ踊りなど、会場に花を添えていただき、楽しい1日となりました。

地域の困り事や地域の発展のためなどをテーマにし、地区の方から振興会が話を聞きする恒例の「井戸端会議」を区長さんや公民館長さんのご協力をいたしました。

7月25日(木)高浜コミユーティセンターで市民ふれあい座談会が行われました。これは市長が市民の皆さん 의견を直接お聞きするため、旧市町10地区をまわり実施するものです。

天草町が今回最初の座談会で、中村市長をはじめ、副市長、教育長や部長(8名)が集まりました。まず市長より大雨の避難所開設状況、西平線の復旧について、崎津地区が世界遺産の国内候補の推薦を受けたことや支所機能の充実などについて講話がありました。

市民からも、支所職員が少なくなることへの心配や危険な廃家屋への対応、国道389号線の拡張工事が早く進捗するよう県へ要望してほしいなどの意見が出ました。

これに対し、市長や部長から現状に対する説明や答弁があり、長時間白熱した座談会となりました。



西校前を御輿が通る

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

高浜地区

(平成26年9月1日現在)

人口	1,306人
男	592人
女	714人
世帯数	661戸
高齢化率(65歳以上)	593人(45.4%)

広報寄付 今後の予定

■おね火	平成27年 1月7日(水)
------	---------------

香典返し

二ノ宮 慶治様
(故・二ノ宮 キヨミ様) 諏訪
久保 黙様
(故・久保 スミヨ様) 諏訪
夏 一幸様
(故・夏 ヤヨカ様) 中向

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

平成26年9月14日(日)、昭和27年度高浜中学校卒業生、喜寿同窓会を開催しました。

奇しくもこの日は、高浜八幡宮秋季例大祭と重なり、多忙な木下宮司のもと参加者30名の氏名を読み上げ、災厄除けの御祓いとともに

皆の健康長寿を祈願しました。

また、隣峰寺にお参りし、物故された37名の同級生の氏名を読み上げ供養をして頂きました。

正午より茶碗屋旅館において、喜寿を祝う懇親会を開き、遠方から参加の友と酒を酌み交わし、昔懐かしい思い出話を語り、さらにはカラオケ踊りも出て時間の過ぎるのも忘れる程の楽しい一刻でした。

最後に、元気で長生きを祈念し、再会を誓い合つてお別れしました。

白砂十二会 喜寿同窓会

中村 篤



白砂十二会



心肺蘇生法の訓練

グラウンドゴルフ大会 — 救急の日 —

9月9日は「救急の日」です。

また、「救急の日」を含む1週間を「救急医療週間」として、応急手当の講習会を中心とした救急実施されています。

天草町でも中央消防署西天草分署が主催し、第7回「救急の日」グラウンドゴルフ大会が開催されました。

平成20年から毎年開催され7回となる今年は、町内から22チーム、過去最多の149名の参加があり、秋空の下、好プレー・珍プレーが多数出るなど最後まで楽しまれました。

競技終了後には119番通報の要領、心肺蘇生法やAEDの取扱方法などの救急法講習会が開かれ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

閉会式には消防署から用意された各賞の抽選会を行い、多くの方が賞品を手にされ、大盛況のうちに幕を閉じました。

競技終了後には119番通報の要領、心肺蘇生法やAEDの取扱方法などの救急法講習会が開かれ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

広報委員としてはとても嬉しい励まされます。出郷されていても、いつも郷土・高浜のことを気に掛けておられるのだなと感謝いたしました。

振興会・広報委員会としても、今後さらなる努力を重ねなければと思いました。



編
集
後
記

広報・鳩の峯の発行について

は、地域の皆様や出郷されておられる方々のご協力の下、何とか発行に至っています。

出郷されておられる方々から激励のお手紙やご寄付を頂くこともたくさんあり、嬉しく思っています。

その中で、今回福岡市在住の鶴田淨様からのお手紙を一部ご紹介させていただきます。

「いつも、鳩の峯をご送付頂きまして有り難うございます。記事内容を有難く、興味深く、懐かしく拝見しています。いつも次号の到着を心待ちにしていま

す。また、さらなる高浜地区の発展を心よりお祈り致します。」

広報委員としてはとても嬉しい励まされます。出郷されていても、いつも郷土・高浜のことを気に掛けておられるのだなと感謝いたしました。

振興会・広報委員会としても、今後さらなる努力を重ねなければと思いました。